



九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.338
2019(令和元)年12月8日(日)発行



「憲法9条が我々の活動を守ってくれている」と

アフガニスタンで医療と用水路建設や人道支援に30年以上活動してきた中村 哲さん(73歳)が、12月4日銃撃されて死亡。こんなに無念なことはありません。

■2001年10月国会で「軍事に依らない国際貢献が大事で、自衛隊派遣など有害無益だ」と堂々と訴え、また「何万人もの犠牲の上に生まれた憲法9条こそ金字塔だ」と話していました。■座右の銘は最澄の「一隅を照らす」でしたが、私たちの憲法9条の一点を守るという「九条の会」活動に励みを与えてくれました。■2011年4月本会総会で中村哲DVDの会も、同年5月のいわき市で予定の講演会も大震災で中止。来年8月會津風雅堂で開催予定だった講演会もう不可能です。■中村さんに対し、安倍首相や政権、官邸はどう対応するか注目です。

自民党の元幹事長 古賀誠氏も「9条は変える必要ない」

○自民党元幹事長の古賀誠氏は、9月に『憲法九条は世界遺産』を出版。議員に初立候補の時から現在まで、憲法九条は護っていく覚悟を訴えています。



古賀誠氏
1940年8月5日
福岡県みやま市
生れ。
1980年~
2012年
衆院議員

<古賀 誠著 『憲法九条は世界遺産』要旨>

◆父は2度目の出征で33歳で戦死します。私が2歳の時で顔もぬくもりも知らない。母が命がけの行商で、姉と私を貧乏の苦勞を重ねて育ててくれた。

◆国会議員になり一度だけ母を東京に呼んだ。母の希望で靖国神社に参拝するが、母は昇殿せず、頑なに社頭で参拝。「ここは赤紙を出した東條さんも一緒やる」と言いA級戦犯の合祀を許さなかった。



希望で靖国神社に参拝するが、母は昇殿せず、頑なに社頭で参拝。「ここは赤紙を出した東條さんも一緒やる」と言いA級戦犯の合祀を許さなかった。

挿画：おちあいけいこ ◆私は2001年に日本遺族会会長になります。その時自民党の重鎮野中広務(のなかひろむ)氏に「父の戦死の地を訪ねよ」と諭され、一緒にフィリピンのレイテのジャングルに行き、簡単な祭壇を作りました。亡き母の慰霊を飾ったとたんにスコールに襲われますが、「ほら、息子がやっと迎えに来てくれたと、涙雨だ」と野中さんが言って慰めてくれた。◆大東亜戦争で初期に兵士100万人、終戦までの1年2カ月だけで210万人が戦死。早く終戦を決断せず、政治の貧困そのものだ。父も死なずにすんだのにと残念だ。戦争未亡人を生み出さない平和な国をつくりあげるのが政治だ。◆憲法九条には戦争の反省と平和の決意が込められている。九条を維持することが中国、韓国との信頼を生むのだ。

▲この本は、2018年の夏、兵庫県神戸市での古賀氏の講演をまとめたもので、今年9月にかもがわ出版から発売(¥1000E)。94ページですぐ読める、お薦めの一冊です。

さらに11月13日都内で憲法改正について、岸田派の若手議員の勉強会を開き、同派の名誉会長の古賀誠氏は講師を務めて「憲法9条は変える必要はない」と明確に自民党の改憲案に反対しています。与党議員でも改憲反対の意思を堂々と表明し行動してほしいものです。



○自民党の元総裁・元衆院議長の河野洋平氏も、安倍首相の憲法に自衛隊明記について、「理解しようがない。9条はさわるべきでない」と批判。「憲法は現実に合わせて変えていくのではなくて、現実を憲法に合わせる努力をまずしてみることが先ではないか。憲法には国家の理想がこめられていなければならない」と強調しています。同感です！

会員さんの出版紹介

吉田信雄さんの歌集『思郷』

現代短歌社発行 ¥2,500+税

○今年83歳の吉田さんの自宅は、大熊町夫沢の事故原発直近の南1.5kmにありました。家族9人で避難し、会津若松市からいわき市に転居を強いられ、その不条理を歌に託してきました。2014年の歌集『故郷喪失』に次ぐ出版です。

中間貯蔵施設説明会ありわが家を踏みゆく重機をまぼろしに見つ
震災前九人で住みしわが家族散りぢりになり桜花舞ふ
兵戈など交へるなかれ男の孫の頭上激しく自衛隊機ゆく
震災前は大家族でした いまさらに言へど詮無し二人となりぬ
原発の地より持ち来しみ祖らの遺骨を納む新しき墓に
常磐道にて被災地ゆくに人住む地人住まぬ地の差は歴然たり
壁に掛くる家族写真が風に揺る 還ることなきかの日のひかり
今年また甲子園沸きわが母校を廃校にせしめし原発事故は
ふるさとへつひに帰還はならざれば花木をあがなひ妻と植ゑたり

中村 晋さんの句集

『むずかしい平凡』

発行 bonekobooks @ gmail.com ¥1,400+税

○金子兜太さんの愛弟子の中村さんは県北の高校教員。原発事故に翻弄される学校や生徒の苦悩を俳句でも告発しています。

春の牛空気を食べて被曝した
フクシマよ天と桃棄てられる
ひとりひとりフクシマを負い卒業す
被曝の土に被曝の翅を蟻が曳く
雪とけて村いつぱいの除染ごみ
アウシユビッツは人フクシマは林檎埋めし
人間よ万緑をどう除染する
蟻と蟻ごつつんこする光かな
フリージアけっこうむずかしい平凡

会員さんからの嬉しいお便り

九条はまち会報ありがとうございます。
私も吉野作造記念館にいきたくなり
乳花。南相馬市に「鈴木安蔵記念館」
大啓成です。
会員の青田さんご夫婦大津でがんばって
いますね。米畑内極唄聴たいですけど..
朝倉悠三さんご逝去残念です。私と同じ年です
ご冥福をお祈りいたします。
ずっと九条はまちには朝倉さんが
ついでに。

(南相馬市から東京に避難中の山田俊子さんより)



《事務局より》

今年も「九条」を守ることができました！
これも全国の「九条の会」の根強い活動の
おかげです。自信を持ち来年も頑張ろう！
いつも会員さんからのお便りに励まされて

います。お気軽に事務局に声をかけてください。
前号で、2019年の会費の納入をお願いしました
が、早速のご納入をありがとうございます。
お互いに元気で、良い年を迎えましょう。

「はらまち九条の会」事務局 《市外局番はTEL0244》

- 会長：平田慶肇(ひらた けいいち) TEL24-1211・FAX24-4825
- 事務局長：早坂吉彦 〒975-0016南相馬市原町区仲町2-161 TEL090-2975-2508
- 事務局次長：山崎健一(福島市) TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com
- 会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892
- 石田賢二(郡山市) TEL080-5556-4037 ○番場恵子 TEL22-0715 ○HP：大浦祥見 TEL24-0704
- 志賀勝明(相馬市) TEL090-9530-5524 ○田中徳雲(小高区) TEL090-2796-4066

